

エクオールによる閉経後女性の脱毛抑制効果に関する研究

【代表者】

平田久美子 大阪教育大学 教育学部 教授

【共同研究者】

森村美奈 大阪市立大学 医学研究科 准教授

【研究概要（申請書より抜粋）】

大豆などの食品に含まれるイソフラボンの代謝産物であるエクオールは非ステロイド性エストロゲンであり、骨粗鬆症に対する骨量増加効果や更年期症状の改善効果が明らかにされている。しかしながら、更年期女性の 84.9%が自覚し、抑うつ傾向や引きこもりの一因となっている脱毛および薄毛に対する改善効果は明らかではない。本研究の目的は、エクオールの抗アンドロゲン作用が閉経後女性の頭皮や毛髪に及ぼす影響を明らかにし、更年期女性の脱毛を抑制する方法として確立することである。

更年期女性の脱毛に対する研究は、疫学研究もしくは、男性型脱毛に対する治療薬を投与する少数例を対象とした研究にとどまっており、植物由来の非ステロイド性エストロゲン食品であるエクオール摂取による脱毛抑制効果を検討する点に本研究の独創性がある。我々の研究グループは、更年期症状や慢性疲労についての研究を継続的に行っており、閉経女性を対象とした研究において、女性ホルモン経口摂取の血管内皮機能に及ぼす影響を明らかにしている(Hirata K. JACC, 2001:38, 1879)。本研究で、エクオールによる脱毛抑制効果が明らかになれば、イソフラボン代謝産物食品であるエクオールの社会的認知度向上へとつながり、ひいては、閉経後女性の社会活動への積極的参加を促進するという点で社会貢献が期待される。

【研究成果（報告書より抜粋）】

80%以上の閉経後女性が薄毛の悩みを抱えている。大豆と乳酸菌を主原料とした食品であるエクオールは、女性ホルモン様の効果を有しており、女性ホルモンが低下している閉経後女性の脱毛や薄毛を抑制する方法として確立することが研究の狙いである。

大阪市立大学更年期外来を受診した患者のうち、女性ホルモン内服中、閉経後4年以内の患者を除外し、一年間のエクオール継続投与の説明と同意が得られた患者を登録する予定としている。エクオール投与開始前に、頭髪の全体写真、target area hair count、一般採血データ、血中・尿中エクオール濃度、女性ホルモン値などを測定し、頭髪の状態や更年期症状の自己評価について問診を行い、抜けた毛髪の微量元素（亜鉛、Mgなど）なども測定する予定である。

現在は、同意書の作成などを行い、研究開始に向けての準備を進めている。

女性の脱毛については、女性ホルモンの内服や少数の疫学研究にとどまっているため、植物由来の食品エクオールの脱毛抑制効果を検討する点に本研究の独創性がある。本研究で、エクオールの脱毛抑制効果が明らかになれば、閉経後女性の社会活動への積極的参加を促進するという点で社会貢献が期待される。